

令和3(2021)年度呉市立美術館コレクション展Ⅱ 「呉美の陶芸作品そろい踏み+α」



中村錦平
《香炉"らでしょなるや"》
1986年



富士原恒宣
《白釉扁壺》1989年



鈴木治《速い馬》1977年

呉市立美術館は陶芸作品をコレクションの一つの柱としています。その発端は1985(平成8)年開催の「新しい造形への招待－現代のやきもの展」にあります。「装飾と造形」という陶芸における二大要素をテーマに、20名の新進陶芸家に出品を依頼し(うち16作家の作品を収蔵)、多様な現代陶芸の諸相を紹介し、意欲的な企画として高い評価を受けました。

以来、個性豊かなコレクションを形成してきたところです。本展では、「装飾と造形」をベースに、「彫刻と陶芸」「伝統と革新」などの視点から、富本憲吉、加藤卓男、三代徳田八十吉、森野

泰明、柳原睦夫、中村錦平、西村陽平ほか25名の作家の作品50点により、当館陶芸コレクションのエッセンスを展覧します。

あわせて、「+α」として、新進気鋭の陶芸家、今田拓志氏(比治山大学准教授、日本工芸会正会員)による新作を招待展示し、現在進行形の陶芸の一断面をご紹介します。

ぜひ、この機会に近現代陶芸の百花繚乱とも言える精華をお楽しみください。



加藤卓男
《三彩花器「爽容」》
1994年



林秀行《行儀のよい天使》
1982年



柳原睦夫
《紹輪金銀彩花瓶》
1971年

KURE MUNICIPAL MUSEUM of ART
2021's 2nd Collection's Exhibition
Lineup of Art Ceramic Collection +α

Kure Municipal Museum of Art has collected masterpieces of Japanese modern art ceramic. This time, we exhibit 50 pieces among our collection to show you the essence of our art ceramic collection.

In addition, as "+α", we introduce you some brand new pieces of the present time created by a ceramic artist living in Hiroshima.



川崎千足
《ロマンチズム編み》
1977年

【関連イベント】

■ワークショップ「陶芸でアジの箸置きを作ろう!」

(比治山大学連携事業) ※要事前申込

煮干しのアジを観察してスケッチし、これをもとに陶芸用粘土でアジの形の箸置きを制作します。講師が持ち帰って乾燥させ、釉薬をかけて焼成したものを後日、送料着払いでお届けします。世界に一つだけの箸置きを作ろう!

日時: 12月18日(土) 13:30~15:00

会場: 呉市立美術館 別館ミニギャラリー

講師: 今田拓志(陶芸家、比治山大学准教授、日本工芸会正会員)

対象: 小学生以上(小学生は保護者同伴)

定員: 15名

申込: 11月20日(土)から12月10日(金)までにお電話(0823-25-2007)または呉市立美術館HP(<https://www.kure-bi.jp/>)の専用フォームでお申し込みください。定員に達するまで先着順で受け付けます。

参加料: 1000円(入館料を含む)

■ギャラリートーク

※ 会場は展示室内。事前申込は不要です。
ご参加には入館券が必要です。

★陶芸作家による作品解説(比治山大学連携事業)
作家ならではの視点から展示作品を解説していただきます。
日時: 12月18日(土) 11:00~(約45分)
講師: 今田拓志(陶芸家、比治山大学准教授、日本工芸会正会員)

★学芸員による作品解説

担当学芸員が展覧会の見所を解説します。
日時: 1月8日(土)、1月15日(土) 各日11:00~(約45分)

※ ご参加の際はマスクを着用してください。発熱など体調不良の際は参加をお控え願います。

※ 開催内容に変更が生じる場合があります。最新情報は当館HPまたはTwitterでご確認ください。